

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

不安定型大腿骨転子部骨折に対する治療成績 -短いサイズの髓内釘と中型サイズの髓内釘の比較-に関する研究

1. 研究の対象

2015年1月1日から2021年11月30日までの間に、当院の整形外科で不安定型大腿骨転子部骨折に対して骨接合術の手術を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

目的：下記の項目3に記載する診療情報等を利用し後ろ向きに調査し、短いサイズの髓内釘(short femoral nail: SFN)群と中型サイズの髓内釘(middle femoral nail: MFN)群に対して術後成績を比較検討することを目的としています。

方法：不安定型大腿骨転子部骨折術後に関して診療録を用いて後ろ向きに調査した21人21股の患者を対象とします。SFN群10人10股、MFN群11人11股の両群の比較検討を行います。この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等：診断名、単純X線、単純CT、手術時年齢、性別、body mass index(BMI)、術前待機期間、術中出血量、手術時間、骨癒合率、術後6か月時歩行不能率、術直後X線より骨頭頂点とインプラント先端の距離(tip apex distance: TAD)の計測、術直後と術後6か

月時の単純 X 線より sliding 量の計測、術直後と術後 6 か月時の単純 X 線より髄内釘の髄腔内における動揺(swing motion)量の計測。

4. 情報の提供先・提供方法

この研究は、該当しません。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属大磯病院 (電話：代表 0463-72-3211 内線：5176)
研究責任者 整形外科 横山 勝也
問い合わせ担当者 整形外科 横山 勝也

-----以上